



令和6年度学術委員会学術第3小委員会報告

周産期医療における病院薬剤師の業務実態と医療貢献に関する調査・研究

委員長

東北医科薬科大学病院薬剤部

畠山 史朗 Shiro HATAKEYAMA

委員

岡山医療センター薬剤部

赤阪 未来 Miki AKASAKA

東北医科薬科大学薬学部地域医療薬学教室

菊池 大輔 Daisuke KIKUCHI

千葉県済生会習志野病院薬剤部

岩佐 千尋 Chihiro IWASA

一宮市立市民病院薬剤局

杉浦あゆみ Ayumi SUGIURA

信州大学医学部附属病院薬剤部

小澤 秀介 Shusuke OZAWA

広島大学病院薬剤部

三木 陽介 Yosuke MIKI

背景

本邦では少子化および母体の高年齢化が進んでいる。2023年の人口動態統計では、合計特殊出生率は1.20（2022年：1.26，2021年：1.30），年間出生数は約73万人（2022年：約77万人，2021年：約81万人）と減少の一途を辿っており，母親の第1子出生時の平均年齢も31.0歳（2022年：30.9歳，2021年：30.9歳）と徐々に上昇している¹⁾。この母体年齢の上昇に伴い，基礎疾患を合併する妊婦の割合が増加しており，周産期における安全かつ適切な薬物療法がこれまで以上に求められている。そのような背景の下，2021年に策定された成育基本法の基本的方針において，薬剤師は「成育過程にある者等に対する保健」を担う者として明記された²⁾。同方針では「医薬品に関する相談体制の充実など妊産婦に対する医薬品の適正使用等を推進する。」と明記されており，薬剤師の周産期医療における期待はこれまで以上に大きい。さらに，2024年には，こども家庭庁より「基礎疾患のある妊産婦等への妊娠と薬に関する相談支援加算」が設立されるなど，薬剤師のさらなる活躍の場が広がっている³⁾。

病院薬剤師の周産期医療への参画は，2008年に日本病院薬剤師会（以下，日病薬）が制定した専門薬剤師・認定薬剤師認定制度において専門領域の1つとして位置づけられた，妊婦・授乳婦専門薬剤師および妊婦・授乳婦薬物療法認定薬剤師が中心となり推進されている。2024年10月時点で，妊婦・授乳婦専門薬剤師26名，妊婦・授乳婦薬物療法認定薬剤師171名が認定されており，母体の健康および胎児・乳児等への影響に配慮した薬物

療法を担うことで，母子の健康への貢献を目的に活動している。これら専門・認定薬剤師は，産婦人科診療ガイドライン産科編2023において，患者から医薬品使用による胎児への影響について相談を受けた場合に連携を図るべき医療職種として記載されており，他職種からも一定の評価を受けている⁴⁾。

病院薬剤師による妊婦・授乳婦への薬物療法支援として，薬剤管理指導業務，病棟薬剤業務，および服薬に関連するカウンセリング外来を介した，妊娠・授乳と薬物治療との両立の実現や，妊婦・授乳婦が抱く医薬品使用への不安の解消などの医療貢献が報告されている^{5,6)}。その一方で，病院薬剤師が関与する周産期医療の診療報酬は未だ存在しないため，妊婦・授乳婦に対する病院薬剤師の標準的な業務は確立されておらず，都道府県間や施設間でその関与状況や内容が大きく異なる可能性が考えられる。

目的

本小委員会の目的は，周産期医療における病院薬剤師の関与状況，および妊婦・授乳婦専門・認定薬剤師の医療貢献を明らかにし，周産期医療における病院薬剤師の標準業務を提案することで，病院薬剤師の周産期医療へのさらなる参画を推進することである。

本小委員会活動によって得られる直接的な成果を，a. 病院薬剤師の周産期医療への関与状況解明，b. 周産期医療に関する病院薬剤師業務のエビデンス充実，c. 妊婦・授乳婦領域の専門・認定薬剤師の医療貢献データ創出と想定した。また，間接的に期待される社会的成果を，d. 周産期医療における病院薬剤師の役割の評価向上，e.

表 周産期医療への病院薬剤師の関与状況調査の調査票

Q0 アンケート調査参加への同意

Q1 ご回答者様および所属施設についてお答えください。

- 1 ご所属の施設が属する都道府県名をご選択ください。
- 2 ご回答者様の役職をご選択ください。
- 3 ご所属の病院種別をご選択ください。
- 4 ご所属はDPC病院かどうかご選択ください。
- 5 ご所属は特定機能病院の指定を受けていますか。
- 6 ご所属の許可病床数をご選択ください。
- 7 ご所属の施設に在籍する薬剤師数をご選択ください。
- 8 ご所属の施設に在籍する妊婦・授乳婦薬物療法認定薬剤師の人数をご記入ください。
- 9 ご所属の施設に在籍する妊婦・授乳婦専門薬剤師の人数をご記入ください。
- 10 ご所属では妊婦健診を行っていますか。
- 11 ご所属では分娩を取り扱っていますか。※「はい」の場合は12へ、「いいえ」の場合はQ2へ
- 12 昨年度の年間分娩件数をご記入ください。
- 13 ご所属の周産期母子医療センターの指定についてご選択ください。
- 14 ご所属は赤ちゃんに優しい病院の認定を受けていますか。
- 15 ご所属は妊娠と薬情報センター、またはその拠点病院ですか。

Q2 周産期に関する業務の実施状況についてお答えください。

- 1 薬剤部では患者または他職種からの「妊婦・胎児」への医薬品の安全性に関する問い合わせを受けることはありますか。※「ある」の場合は2へ、「ない」の場合は3へ
- 2 患者または他職種からの「妊婦・胎児」への医薬品の安全性に関する問い合わせ頻度をご記入ください。
- 3 薬剤部では患者または他職種からの「授乳婦」への医薬品の安全性に関する問い合わせを受けることはありますか。※「ある」の場合は4へ、「ない」の場合は5へ
- 4 患者または他職種からの「授乳婦」への医薬品の安全性に関する問い合わせ頻度をご記入ください。
- 5 妊婦・授乳婦への医薬品の安全性に関するDI資料、データベースのうち、活用しているものを全てご選択ください。
- 6 薬剤部は「妊婦、または育児希望（妊娠していない）女性」への服薬に関するカウンセリングを実施していますか。※「ある」の場合は7へ、「ない」の場合は12へ
- 7 「妊婦、または育児希望（妊娠していない）女性」に対して実施している服薬に関するカウンセリングに該当する内容を全てご選択ください。
- 8 「妊婦、または育児希望（妊娠していない）女性」への服薬に関するカウンセリング頻度をご記入ください。
- 9 「外来における妊婦、または育児希望（妊娠していない）女性」の服薬に関するカウンセリングの体制についてご選択ください。
- 10 入院における妊婦、または育児希望（妊娠していない）女性」の服薬に関するカウンセリングの体制についてご選択ください。
- 11 「妊婦、または育児希望（妊娠していない）女性」へのカウンセリングを協同して実施している他職種を全てご選択ください。
- 12 薬剤部は「授乳婦」への服薬に関するカウンセリングを実施していますか。※「ある」の場合は13へ、「ない」の場合は18へ
- 13 「授乳婦」に対して実施している服薬に関するカウンセリングに該当する内容を全てご選択ください。
- 14 「授乳婦」への服薬に関するカウンセリング頻度をご記入ください。
- 15 「外来における授乳婦」の服薬に関するカウンセリングの体制についてご選択ください。
- 16 「入院における授乳婦」の服薬に関するカウンセリングの体制についてご選択ください。
- 17 「授乳婦」へのカウンセリングを協同して実施している他職種を全てご選択ください。
- 18 薬剤部のプレコンセプションケアの実施状況について、該当するものを全てご選択ください。
- 19 薬剤部の妊婦・授乳婦に関する薬・薬連携として保険薬局と連携している内容に該当するものを全てご選択ください。
- 20 ご所属の施設では、薬剤部の周産期医療への参画を推進したいと考えていますか。※「はい」の場合は21へ、「いいえ」の場合は22へ、「所属施設が周産期医療を取り扱っていないため検討していない」の場合はQ3へ
- 21 周産期医療への薬剤部の参画にあたり、体制整備で問題となる点について、該当するものを全てご選択ください。
- 22 「いいえ」と選択した理由をご選択ください。

Q3 生殖補助医療および一般不妊治療への関与状況についてお答えください。

- 1 ご所属での生殖補助医療管理料の算定状況をご選択ください。
- 2 薬剤部は生殖補助医療、一般不妊治療へ参画していますか。※「はい」の場合は3へ、「いいえ」の場合は4へ
- 3 生殖補助医療、一般不妊治療において薬剤師が関与の内容として該当するものを全てご選択ください。
- 4 ご所属でのがん診療実施の有無についてご選択ください。※「がん診療を実施している」の場合は5へ、「がん診療を実施していない」の場合は終了
- 5 薬剤部はがん・生殖医療へ参画していますか。
- 6 ご所属施設でのがん・生殖医療における薬剤師の役割として該当するものを全てご選択ください。
- 7 ご所属では薬剤師が患者等へがん・生殖医療に関する情報提供を行う窓口や相談外来はありますか。
- 8 ご所属においてがん・生殖医療に中心的に関わっている薬剤師を全てご選択ください。

周産期医療にかかわる診療報酬への病院薬剤師関与の推進、f. 日病薬会員に対する妊婦・授乳婦領域の重要性および専門・認定薬剤師の啓発と想定した。

令和6年度の活動内容

1. 妊婦・授乳婦専門薬剤師部門との連携

本小委員会の活動を開始するに当たり、日病薬専門薬剤師認定制度委員会 妊婦・授乳婦部門との連携体制について協議を行い、連携体制を構築した。構築された体制に基づき、調査研究および成果物の作成を連携して実施することとした。

2. 調査研究の実施

本小委員会では周産期医療における病院薬剤師の関与状況を解明するために、①周産期医療における薬剤師業務関連論文のシステマティックレビュー、②周産期医療への病院薬剤師の関与状況調査（アンケート調査）を実施し、妊婦・授乳婦の専門・認定薬剤師の医療貢献を解明するために、③妊婦・授乳婦領域の専門・認定薬剤師に関する基本統計、④妊婦・授乳婦領域の専門・認定薬剤師の医療貢献調査（アンケート調査）を実施する計画とした。

①のシステマティックレビューについては検討を進め、対象候補となる論文78報を抽出のうえ収集した。②、③、④については研究実施に向けてアンケート調査票（表）作成や解析計画立案のうえ、日病薬臨床研究倫理審査委員会に申請し、承認を受けた（受付番号：2024-03-03）。

3. 日病薬会員への活動のフィードバック

本活動の成果物として、病院薬剤師の妊婦・授乳婦領域の業務促進および標準化を目的とした、「病院薬剤師の周産期医療の業務実践ガイド（仮）」の作成について、本小委員会と専門薬剤師認定制度委員会 妊婦・授乳婦専門薬剤師部門で協議した。本小委員会の調査結果に基づき、作成を進める方針とした。

令和7年度の活動予定

周産期医療における病院薬剤師の関与状況の解明として、①システマティックレビューの完遂、および②周産期医療への病院薬剤師の関与状況調査としてアンケートの配布と解析を行う。妊婦・授乳婦領域の専門・認定薬剤師の医療貢献解明として、③妊婦・授乳婦領域の専門・

認定薬剤師に関する基本統計の実施、および④妊婦・授乳婦領域の専門・認定薬剤師の医療貢献調査に関するアンケートの配布と解析を行う。さらに、各種調査結果を基に、成果物として、「病院薬剤師の周産期医療の業務実践ガイド（仮）」の作成を進める。

謝辞

本小委員会の活動を支えてくださいました日病薬事務局の皆様、学術委員会担当としてご指導くださいました、岩本卓也氏、岡田浩司氏、日病薬専門薬剤師認定制度委員会 妊婦・授乳婦専門薬剤師部門との連携体制の構築にご快諾いただきご指導くださいました、中島 研部門長、香西祥子認定審査委員長、西村あや子試験委員長、山根律子研修委員長、その他関係者の皆様に心より感謝申し上げます。

引用文献

- 1) 厚生労働省：令和5年（2023）人口動態統計月報年計（概数）の概況。
<https://www.mhlw.go.jp/toukei/saikin/hw/jinkou/geppo/nengai23/index.html>, 2025年5月21日参照
- 2) 厚生労働省：成育医療等の提供に関する施策の総合的な推進に関する基本的な方針。
<https://www.mhlw.go.jp/content/11908000/000872364.pdf>, 2025年5月21日参照
- 3) こども家庭庁：「性と健康の相談センター事業」における「基礎疾患のある妊産婦等への妊娠と薬に関する相談支援加算」の取組と周知について。
https://www.cfa.go.jp/assets/contents/node/basic_page/field_ref_resources/d4a9b67b-acbd-4e2a-a27a-7e8f2d6106dd/82f5c36b/20240318_policies_boshihoken_tsuuchi_2024_20.pdf, 2025年5月21日参照
- 4) 日本産科婦人科学会/日本産婦人科医会：“産婦人科診療ガイドライン産科編2023”，日本産科婦人科学会，東京，2023。
- 5) N Yakuwa, K Nakajima, S Koinuma, M Goto, T Suzuki, N Ito, O Watanabe, A Murashima : Perception of pregnant Japanese women regarding the teratogenic risk of medication exposure during pregnancy and the effect of counseling through the Japan drug information institute in pregnancy, *Reprod Toxicol*, **79**, 66–71 (2018).
- 6) 川原田由佳梨, 岸 里奈, 宮川泰宏, 千崎康司, 山田清文：服薬中の授乳婦への薬剤管理指導に関する実態調査, 日本病院薬剤師会雑誌, **57**, 329–334 (2021).